

ブナの里

少ない雪に木陰がくっきりと雪に映える黒松内町ブナの小道の風景

黒松内町ブナセンター 学芸員 斎藤 均 撮影

- | | |
|----------------------------------|-------|
| ◇ 2023年 大代理事長 年頭のあいさつ ······ | P2, 3 |
| ◇ 当法人事業所のある4町村長から新年のごあいさつ ······ | P4, 5 |
| ◇ 2022年 法人重大ニュース ······ | P6, 7 |



2023年 年頭のあいさつ

社会福祉法人黒松内つくし園

理事長 大代貴輝

新年明けましておめでとうございます。

2023年の年頭にあたり、謹んで新春のお慶びを申し上げます。

利用者・ご家族の皆様をはじめ、関係機関各位、地域の皆様におかれましては、健やかに新年をお迎えになられたこととお慶び申し上げます。

また、日頃より当法人の運営に当たり、地域の皆様をはじめ黒松内町、俱知安町、京極町、泊村、関係機関の皆様には格別なるご支援ご協力を賜り心より感謝とお礼を申し上げます。さらには、法人役職員とご家族の皆様にも日頃の法人運営へのご尽力並びにご理解ご協力をいただき、誠にありがとうございます。

昨年は理事長として2期4年の舵取りを行つてているところであります。日頃より当法人の運営に当たり、地域の皆様をはじめ黒松内町、俱知安町、京極町、泊村、関係機関の皆様には格別なるご支援ご協力を賜り心より感謝とお礼を申し上げます。さらには、法人役職員とご家族の皆様にも日頃の法人運営へのご尽力並びにご理解ご協力をいただき、誠にありがとうございます。

2022年は法人にとって悲しみと試練、時代の移り変わりを感じさせられる年となりました。当法人創設期から故廣瀬清藏元理事長とともに、基盤づくりや地域との関係づくり、施設運営等に多大なる貢献をされた3名の功労者を失いました。

6月には養護老人ホーム緑ヶ丘老人ホームの開設と基盤づくりに尽力された稗田静男名誉顧問が逝去されました。9月には

黒松内町名譽町民であり、前理事長の谷口徹顧問、そして、理事として永く法人そして黒松内町商工業発展のため尽力いただきました茂尾実理事が相次いでこの世を去りました。3名とも当法人にとつてなくてはならない方であり、これからも法人をして私にご助言をいただきたいと存じておりましたが、お亡くなりになりましたことは、誠に痛恨の極みであります。稗田名譽顧問、谷口顧問、茂尾理事の多大なるご功績とご教授いただいた数々のお言葉を永遠に心に刻み、今後の法人運営を進めてまいる所存であります。

昨年も新型コロナウイルス感染症はオミクロン株の急拡大による第6波から、昨年末の第8波まで依然感染力は衰えることなく、特に医療機関や福祉施設での感染拡大に歯止めがかかりませんでした。当法人事業所でも利用者と職員の感染が相次ぎ、複数事業所でクラスターが発生する事態となりました。世間では脱マスクや国外旅行者の受け入れ、飲食や外出、旅行等の許容と、ウイズコロナ社会での経

済活性化も浸透して参りました。しかしながら、福祉の現場は引き続き感染症対策の継続と、利用者の生命と暮らしを守るため日々奮闘しております。法人各施設では、様々な工夫をしながら面会制限緩和や施設行事等を行つておりますが、利用者及びご家族の皆様には、ご不便をおかけしており、深くお詫び申し上げます。また、関係各位の皆様にはご理解とご協力をいただき、感謝申し上げます。今後も継続して、より一層の良質なサービス提供に向けた取り組みを行つてまいります。

そのような中、当法人が取り組んできた福祉サービス向上や職員の待遇改善、社会貢献事業推進や環境への配慮といった様々な取り組みを外部から評価いたくことができました。取引銀行である北洋銀行様のサポートを受け、SDGs(持続可能な開発目標)の取り組みを明確にし、同行の取引先の社会福祉法人では後志地区第1号となるSDGs宣言を行いました。合わせて、昨年4月よりD&I(ダイバーシティ&インクルージョン)

北海道働き方改革推進企業に申請し、2番目の高評価となるシルバー認定をいただきました。これからも地域・社会、そして利用者・職員にとって必要とされる法人として、SDGsやD&Iへの取り組みをさらに行つてまいります。

さて、福祉事業を取り巻く環境は依然厳しいものであり、世界的な原油高による燃料・光熱水費、そして様々な食材や消耗品の物価高騰が著しく、相当の影響を受けております。また、介護・福祉人材確保の困難さはさらに深刻な経営課題となつており、当法人においても職員確保に大変苦慮しています。そのような中、当法人が他に先駆けて取り組んできた外国人介護人材の確保において、昨年はベトナム人技能実習3期生10名とカンボジア人特定技能3名、そして新たにインドネシアから特定技能5名を受け入れました。在留資格介護を含め、外国人介護職員は3ヶ国から総勢40有余名

となりました。本年春には、さ
らにインドネシア人特定技能8
名を採用予定です。関係町村や
地域の皆様のご理解ご協力をい
ただきながら、多文化共生社会
の実現を目指した取り組みをさ
らに進めてまいります。

社会福祉法の改正により、当
法人ではガバナンス強化や法人
本部機能強化・集中化を進めて
まいりました。特に本年は、イ
ンボイス制度と電子帳票保存法
改正への対応が求められます。

また、社会全体で事務機能のI
CT化が加速しており、当法人
でも基幹系ソフトの更新や様々
な事務機能の電子化への対応を
強化してまいります。

本年は、5ヶ年の中期事業計
画の更新年度を迎えることから
新たな中長期ビジョンのもと将
来的な事業運営方針を明確にし
様々な経営課題に取り組んでま
いります。将来のビジョンをも
とに施設運営の在り方や定員変
更、事業の統廃合、施設整備計
画策定に取り組んでまいります
・障がい事業所の再編について
も、将来の方向性を見据えた経

當判断を行つてまいります。そして、本年春に5年の指定管理更新期限を迎える泊村老人ホームむつみ荘の運営を、泊村と協議を重ねた結果、当法人が指定管理者となり運営させていただくことが決定いたしました。

今後も社会福祉の動向に合わせた対応をしながら、地域福祉と地域住民や関係団体、行政等地域一体となつた福祉のまちづくりをさらに進めてまいります。

本年も黒松内町、俱知安町、京極町、泊村のご理解ご協力を賜りながら、地域福祉向上のため役職員一同さらなる努力を重ねてまいります。社会福祉法人としての役割と使命をこれまで以上に果たしていくための取り組みをより一層進めてまいりたいと思います。

今後ともご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げますとともに、本年が皆様にとって実りのある1年となることを心よりご祈念申し上げ、新年の挨拶とさせていただきます。本年もどうぞよろしくお願ひ申し上げます。

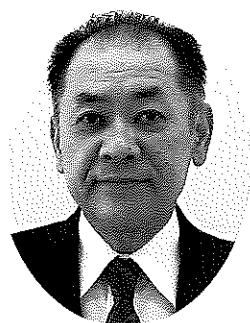
謹賀新年

社会福祉法人

謹賀新年											
社会福祉法人 黒松内つくし園 役員一覧						本年もよろしくお願ひ致します					
理 事 長 大 代 貴 輝						(業務執行理事) 常務理事					
月	日	月	日	月	日	評	監	理	業務執行理事	常務執行理事	(業務執行理事)
月	日	月	日	月	日	議	員	事	事	長	事
佐々木	大久保	有	慶	小野	佐々木	大	高	坂	吉	遊	事
剛	慶	剛	裕	克	有	迫	橋	松	瀧	部	長
剛	剛	剛	司	順	慶	田	木	田	久	眞	務
夫	雄	雄	子	崇	慶	間	政	谷	孝	澄	執
剛	輝	輝	文	彦	慶	光	敏	田	剛	貴	行

法人施設事業所のある4町村長より 2023年新年のごあいさつ

新年にあたつて



鎌田 满
黒松内町長

新年あけましておめでとうございます。

社会福祉法人黒松内つくし園の大代理事長をはじめ、役職員の皆様、また、施設の利用者とそのご家族の皆様には、健やかに新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

あわせて、利用者の皆様の健康と命を守るため、新型コロナの感染拡大防止にご尽力いただいている福祉医療従事者の皆様に、心から感謝と敬意と表します。

昨年は、本町の福祉行政に長年ご尽力を賜りました名譽町民であり貴法人の前理事長で顧問

の谷口徹氏、32年の長きにわたり理事として法人運営にご尽力された茂尾実氏、お二人のご逝去にあたり、心よりご冥福をお祈りするとともに深く感謝申し上げます。

ウィズコロナの下、社会生活や価値観が変化をする中で、多様化するニーズや社会的孤立、貧困等を背景とする深刻な生活

課題に対し、地域共生社会の実現を目指して、制度・分野を超えた包括的・重層的な支援が求められております。

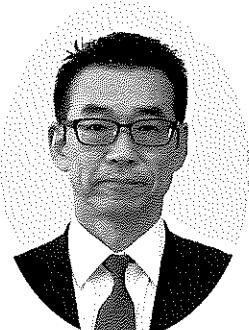
貴法人におかれましても人材の確保・育成や地域における公益的な取組が重要課題と思われます。大代理事長を中心に関係の方々の英知を結集し、これら

の難局を乗り越え、常に時代と地域の要請に応えた質の高い福祉サービスが展開されることを期待しております。

結びにあたり、貴法人が更なる飛躍を遂げられますとともに、関係各位の益々のご健勝とご多幸を心からお祈り申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。

幸を心からお祈り申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。

年頭ご挨拶



文字 一志 倉知安町長

新年あけましておめでとうございます。

貴法人の役職員をはじめ、施設の入所者・利用者、またそのご家族の皆様におかれましましては、希望に満ちた新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

急速に進む少子・高齢社会において、自立が困難な高齢者の住環境問題、障がいを持つ方の就労支援など本町が抱える福祉行政課題に対し、貴法人が施設整備等でご尽力頂いておりますことに改めて敬意を表する次第

れました複合福祉施設「つくしんぼ」をはじめとする福祉施設は、俱知安町にしっかりと根付き、本町はもとより、これら施設の利用者並びにご家族の方も大変感謝しているところでございます。

昨今、既存の公的サービスや医療・介護施設では対応できないう生活ニーズに対し、地域において活動する団体と連携をしながら支援体制の充実を図る、生

活支援体制整備事業の推進が必須とされています。

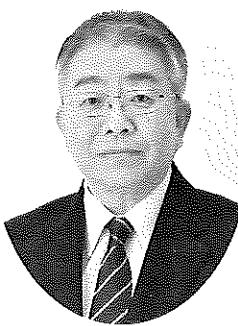
また、様々な制度改正が進む中、黒松内つくし園に代表される専門性・経験豊かな社会福祉法人、NPO等の役割は大きく、行政と皆様方の協力・協働がなければ、この難局は乗り越えられないと感じておりますので、本町に対する、貴法人の一層のご協力をお願い申し上げることであります。

新型コロナウイルスの感染拡大に落ち着きが見られるとはいって、いまだ収束したとは言えない状況が続いていることが、様々な感染防止対策にご尽力されていることに、心より感謝申し

上げます。

末筆になりますが、貴法人の益々のご発展ご活躍と皆様にとりましても良い年になりますようにご祈念申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。

新年にあたつて



梅田 禎氏 京極町長

新年あけましておめでとうございます。

貴法人の役職員の皆様をはじめ、施設のご利用者とご家族の皆様におかれましては、令和5年の新春を健やかにお迎えのこととお慶び申し上げます。

また、平素より、本町の社会福祉の向上に深いご理解と温かいご支援を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、貴法人が本町で運営されております「養護老人ホーム

慶和園」や「特別養護老人ホームユニットケア慶和園」においては、専門性や豊富な知識と経験に基づく質の高いサービスを

提供いただき、利用者はもとよりご家族の皆様から高い評価をいただいていることはもちろんのこと、地域福祉の向上にご尽力いただいておりますことに、心より感謝申し上げます。さらには、新型コロナウイルスの感染予防に日々取り組まれていることにつきましても心から敬意を表します。

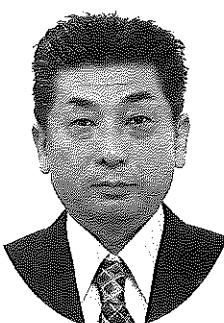
今後におきましても、貴法人には、施設のご利用者が安心して生き活きと暮らすことができることづくりに努めていただこうとも、災害発生時には福祉避難所の開設にご協力をいただききますよう、よろしくお願ひ申しあげます。

結びにあたり、コロナウイルス感染症の影響により、施設の運営にも様々な制約が続いていることと思いますが、貴法人の役職員および施設のご利用者どもが家庭様への適切な対応など、日々頑張り指定管理者として泊村の重要政策の一つである福祉事業にご理解、ご協力をいただけております。

せていただきます。

本年もどうぞよろしくお願ひいたします。

年頭ご挨拶



高橋 鉄徳 泊村長

新年明けましておめでとうございます。

令和5年の新年を迎へ、貴法人の役職員の皆様、施設をご利用されております皆様及びご家族の皆様には、心からお慶び申し上げます。

また、貴法人には、当村老人ホームむつみ荘（特養・養護）の運営、サービス利用者様やご家族様への適切な対応など、日々頑張り指定管理者として泊村の重要政策の一つである福祉事業にご理解、ご協力をいただけて、本年が良い1年となりますことを心からご祈念し、年頭のご挨拶とさ

指定管理につきましては、令和5年3月で5年間の期間が満了になることから、昨年12月13日に議会の議決を受け、引き続き令和5年4月から指定管理者として、ご協力をお願いする次第であります。

昨年を振り返りますと、11月にむつみ荘が新型コロナウイルス感染症クラスターとなり、皆様にご心配とご迷惑をおかけしましたが、関係各所との連携により重症化や感染拡大を食い止めることができました。感染の状況が長期に及ぶ中で感染拡大防止に取り組んでいただいているります皆さんに、あらためて感謝申し上げます。今後、感染拡大防止と社会経済活動の両立が維持でき、一日でも早く安心して日常生活が送れることを念願しております。

結びにあたり、社会福祉法人黒松内つくし園の益々のご繁栄と職員の皆様のご健勝とご多幸をご祈念申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。本年も喜びの多い明るい年になりますよう、よろしくお願ひ申し上げます。

社会福祉法人黒松内つくし園 2022年重大ニュース！

当法人の「2022年重大ニュース」が決定しました。

新型コロナウイルス感染の拡大が続く中、医療・福祉施設の現場では感染対策強化を継続し、職員一丸となって日々奮闘しています。しかし、2022年はオミクロン株の急拡大により、法人事業所の多くでクラスター発生や罹患が相次ぎました。

社会福祉法人を取り巻く環境が依然厳しい中、倫理綱領のもと利用者主体のより良い自立支援サービスを提供し、社会貢献へ向けた公益的取組の推進、そしてSDGsやD&Iの取り組みを行ってまいります。

そのような中、2022年には、ベトナム人技能実習生3期生10名とカンボジア人特定技能3名、そして新たにインドネシア人特定技能5名を採用いたしました。2023年春には、インドネシアから特定技能8名が着任します。

さて、この2023年はどのような話題が会報「ブナの里」の紙面を飾るのでしょうか。法人にとって皆様にとって、明るいニュースがより多く伝えられることを期待します。

☆黒松内町ディ・サービスセンターが開設30周年を迎える（2月）

☆しりべし学園併設の南後志児童ディサービスセンターが開設30周年を迎える（4月）

☆事実婚と同性パートナーへの福利厚生制度適用を開始（4月）

☆児童養護施設黒松内つくし園で本園利用定員を75名から70名に変更（4月）

☆緑ヶ丘老人ホームと緑ヶ丘ハイツの給食業務委託を開始（4月）

☆法人辞令交付式で新卒採用者16名に辞令を交付（4月）=写真=



☆法人奨学資金50,000円を黒松内町内の高校生20名に支給（4月）

☆茂尾実理事が商工業振興発展への功績により「旭日単光章」を受章（4月）

☆北洋銀行のサポートを受け「黒松内つくし園SDGs宣言」を発表

（5月）=写真=

2022年度 特定技能外国人辞令交付式

☆特定技能カンボジア人3名・インドネシア人4名が法人事業所に配属され、辞令交付式・研修会を開催

（5月）=写真=



☆技能実習3期生ベトナム人10名が法人事業所に配属され、辞令交付式・研修会を開催(6月)=写真=

☆緑ヶ丘ハイツ診療所所長 秋野恵美子氏が退任、緑ヶ丘ハイツ診療所を休止

(6月)

☆北海道働き方改革推進企業に申請し、シルバー認定を受ける(6月)=写真=



☆当法人名誉顧問の稗田静男氏が享年94歳で永眠される(6月)

☆特定技能インドネシア人1名が法人事業所に配属され、辞令交付式・研修会を開催(8月)

☆当法人顧問で黒松内町名誉町民の谷口徹前理事長が享年86歳で永眠される(9月)

☆当法人理事で旭日単光章の叙勲を受けた茂尾実氏が享年79歳で永眠される(9月)

☆就労支援B型事業所人と人をつなぐ陽だまりが北海道食品衛生協会より「食品衛生優良施設」表彰を受ける(9月)

☆新型コロナウイルス感染拡大の中、しりべし学園成人寮・緑ヶ丘老人ホーム・黒松内保育園・俱知安地区グループホームつくしんぼ・泊村老人ホームむつみ荘・京極地区老人福祉施設慶和園で相次いでクラスターが発生し、保健所の指導のもと拡大防止に努め、ホームページで詳細を公表(8~12月)

☆コロナ禍の中、法人各施設で感染対策を徹底して2022年末行事を開催(12月)



謹賀新年 えぞふじ納豆

安心安全な道産大豆を使用

北海道の自然の恵みたっぷり



製造 羊蹄セルフ

TEL 0136-23-0425

北海道虻田郡倶知安町字峰下 113-14

喫茶 陽だまり

ミニ図書室、絵本コーナー、
フリーWi-Fi完備♪

キッズルーム・マンガ約15,000冊
地域交流スペースを設置しており、
団体での会議や交流の場としても
ご使用可能です。



営業時間 10:00~17:30

ランチタイム 10:00~14:00

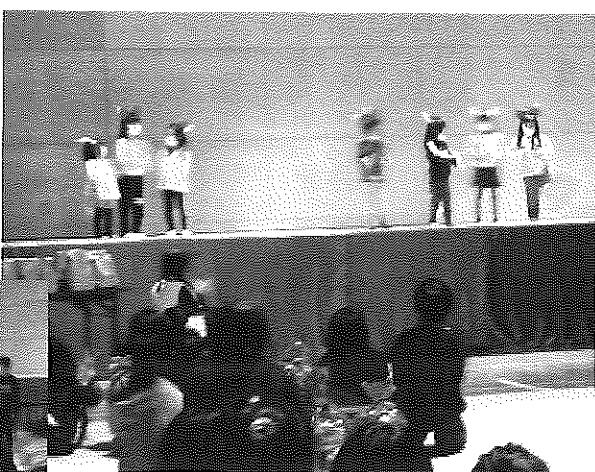
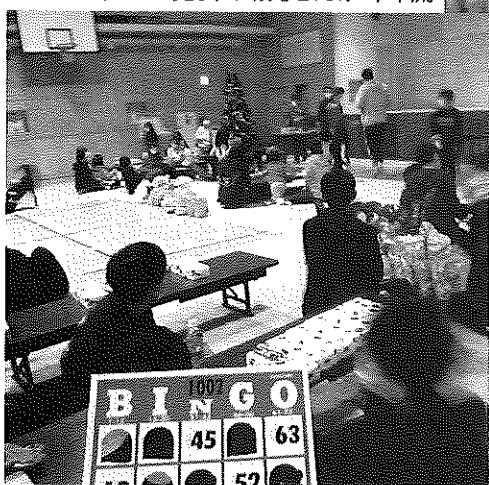
定休日 日曜日

TEL 0136-55-5000

北海道虻田郡倶知安町
南3条西1丁目17

黒松内つくし園「クリスマス会」

12月24日、クリスマス会が体育館で行われました。コロナ流行前はお世話になったボランティアの方々や各学校の先生方などもお招きして食事をしながら子ども達のステージ発表を見るスタイルでしたが、2019年は開催できず、2020年から規模を縮小し行っています。会では有志によるステージ発表で幼児さんが今年流



行したきつねダンスを踊りました。またサンタさんのじゃんけん大会やクイズ大会、bingo大会が行われ、来賓の方々も参加していただき楽しい時間を過ごしました。そして夕食は各部屋で、生チラシやオードブルなどのごちそうを食べながらクリスマス会を振り返っていました。

緑ヶ丘ハイツ「クリスマス会」

クリスマス会では、みんなで「ジングルベル」、「赤鼻のトナカイ」を歌い、「玉入れ」、「ボール渡し」等のレクリエーションを行いました。

久しぶりのレクリエーションにとびきりの笑顔で歓声が上がってきました。今後も利用者の皆さんのが楽しめる時間を少しでも感じ取れるよう職員一同頑張っていきます。



黒松内保育園「クリスマス会」

保育園にサンタさんから「よい子で待つてね」とお手紙が届きました。

リンリンリンと鈴の音が聞こえて、窓の外を見るとテクテクと歩いている姿に「サンタさん！」と大喜びの子ども達。プレゼントをもらったお礼に歌ったり、踊ったり。そして最後はクラスごとでサンタさんと一緒に写真を撮った後、「みんなよい子でいてね～！」と次の子どものところへ向かいました。



法人各施設ではいろいろな工夫をしながら、感染対策を徹底して利用者が笑顔となるよう年末の催しを行いました。

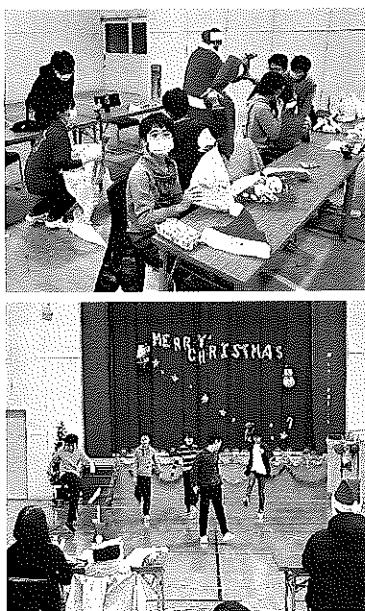
**2022年
年
末
行
事
特
集**

しりべし学園成人寮「クリスマス会」

12月23日、クリスマス会が開催されました。感染対策を施した中、カラオケで盛り上がり、ケーキを食べ、クリスマスプレゼントを手に取り大満足の1日でした。短い時間ではありましたが、楽しいクリスマス会となりました。

**しりべし学園 児童棟「クリスマス会」**

12月24日に感染対策を徹底しながらクリスマス会が開催されました。コロナの流行で直前まで開催できるかドキドキでしたが、無事に開催することができました。今年度も新型コロナウィルス感染予防の為、三密を避け換気を徹底しながら広い体育館で行ないました。クリスマス会では、子ども達が歌やダンス、クイズ等、皆を楽しませたい気持ちで出し物の練習をし、披露してくれました。職員もダンスやゲームで会場を盛り上げ、皆で笑い、楽しいクリスマス会となりました。特にサンタからのプレゼントでは、子ども達の素敵な笑顔をたくさん見ることができ、子ども達にとって、とても楽しいクリスマス会となりました。

**しりべし学園 児童棟「餅つき」**

12月29日に「餅つき」が行われました。餅つきでは技能実習生も参加し児童とふれあい、みんなで協力しながら餅をつき、手で丸めて、笑顔が溢れる楽しい1日になりました。

**湯の里・黒松内「クリスマス会」**

12月21日にクリスマス会を行いました。12月に入り施設内ではツリーやクリスマスの飾り付けを行い、館内全フロアでクリスマスの楽しい雰囲気を作りました。クリスマス会当日は、職員によるハンドベル演奏、そしてトナカイとサンタに扮し、利用者一人ひとりにプレゼントを贈りました。小規模開催となりましたが、皆さん笑顔で温かいクリスマス会となりました。

**泊村老人ホームむつみ荘「クリスマス会」**

各ユニットでは、ささやかなクリスマス会が開かれました。今回は小規模での開催となり、バイキング形式で食事会をしたり、ケーキを食べたり、プレゼントを配るユニットもありました。食事会では、職員手作りの料理が並び、利用者の好きなものを選んでもらい、「好きな物を好きなだけ食べられて嬉しい」「美味しいね」と嬉しそうにされていました。

**後志リハビリセンター「クリスマス会」**

今年も皆さんのがホールに集まってゲームを行いました。「この親の子供はだ~れ」やクイズ。男女に分かれた「デコツリーゲーム」を楽しみました。ゲーム終了後にクリスマスプレゼントが配られたあとは、豪華な食事メニューのオンパレード。メリークリスマス！楽しい時間を過ごしました。



湯の里・黒松内「もちつき」

12月28日、入所利用者の皆さんが順番に杵を使い餅をつきました。でき上った餅は、利用者と職員で雑煮用に丸めました。

お屋の
雑煮は
格別に
おいしく、皆
さん笑
顔で味
わいました。

**黒松内保育園「おもちつき」**

「よいしょ！よいしょ！」と威勢のいいかけ声に乗って、おもちつきを楽しみました。あんこ・しょう油・きなこもちが大人気！おかわりが足りなくなるほど食べてお腹いっぱいになりました。みんなでついたおもちは、大きなお供えの鏡餅になりました。

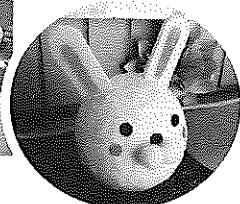
**後志リハビリセンター「お正月準備」**

「リハビリ神社」が設置され、利用者さんと職員の願いが絵馬に書き奉納？されました。



「舞玉」の飾り付け

来年の干支「ウサギ」の起き上り
小法師作り

**後志リハビリセンター「餅つき」**

12月8日に餅つきを行いました。リハビリセンターの法被を纏い、利用者さんが順番についた餅は昼食に「お雑煮」と「三色餅」として頂きました。

**黒松内保育園「まゆ玉飾り」**

子ども達と一緒に大掃除や「まゆ玉飾り」を行い、新年を迎える準備をしました。水をつけすぎてベタベタになったり、力を入れすぎて割れてしまうハプニングもありましたが、自分たちが手掛けたまゆ玉飾りに大満足で「上手にできたよ！」「キレイでしょう！」とお迎えにきた保護者に得意気になって教えていました。

**緑ヶ丘ハイツ「繭玉作り」**

12月26日、繭玉飾りつけを利用者の皆さんと行いました。1階・2階・3階フロアの3つを作成。なかなかくっつかず飾りつけに皆さん真剣な表情をしていましたが、昔の思い出話に花が咲き笑いが起きていました。年の瀬に賑やかなひと時となり新年を迎えられます。



グループホームつくしんぼ「年越し会」

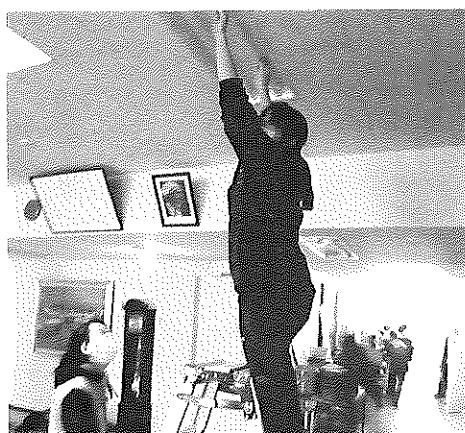
12月31日、グループホームつくしんぼで年越し会を開催しました。生寿司や陽だまり特製オードブル、デザートにはフルーツ盛り合わせを堪能。豪華料理を囲み、1年の思い出話に華を咲かせ、笑いが絶えない年越しとなりました。卯年の1年も良い年となりますように！

**黒松内町ディ・サービスセンター「忘年会」**

12月15、16、19、20、21日の5日間、今年を締めくくる忘年会と12月の誕生会が行われました。吉田管理者より、「来年こそは、皆さんと出掛けましょう。今年1年ご利用ありがとうございました。」と挨拶。乾杯の後は、職員に関する○×クイズで盛り上がり、ホール内は笑いに包まれました。皆様、今年1年ありがとうございました。

**黒松内つくし園「大掃除」**

12月26～28日、つくし園内の大掃除が行われました。掃除場所はお風呂場と玄関ホール、食堂、チューリップ室です。換気扇や窓ふき、床や壁など細かい場所まで職員と子ども達が協力して丁寧に掃除をし、新しい年を迎える準備をしました。

**黒松内町ディ・サービスセンター「蘭玉飾り」**

12月28日、水曜会の皆様に蘭玉飾りつけをお願いしました。見事な枝ぶりで、飾りつけに悪戦苦闘。そんな中「昔は餅でやったけど、付ける片っ端から食べて、父親に怒られた。」とのエピソード。それに対して「我が家も同じ」「どこも同じだね」と笑いが起こりました。年の瀬に賑やかなひと時となりました。

**緑ヶ丘老人ホーム「園内年取り」**

2022年を締めくくる行事「園内年取り」。皆さんごちそうを食べながら、職員による紅白歌合戦で盛り上がりました。新型コロナ感染症には今年も悩まされましたが、なんとか乗り切り笑顔で締めくくることができました。

**後志リハビリセンター「年忘れ会」**

今年の年末年始行事は、ポスター作りから力が入っていました。

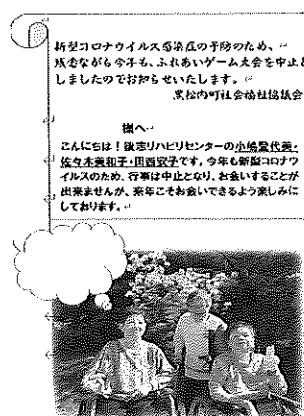


動く玉入れゲームやクイズで体を動かし、頭を使い今年の笑い納めとなりました

黒松内つくし園 各施設の地域貢献事業

後志リハビリセンター

後志リハビリセンターでは毎年、黒松内町社会福祉協議会が主催する「ふれあいゲーム大会」を行つてきましたが、3年連続で中止となりました。その代わりとして、いつも参加されていた黒松内町民の方々と利用者が「来年こそお会いできますよう」などメッセージを利用者直筆や職員の代筆で書き上げたハガキをお送りしました。



黒松内保育園

生後3～4か月の赤ちゃんを対象に保育園に併設されている

開始！

○給食体験事業
「味つけは？」「どのくらい食べたらいいの？」「作っても食べなくて…」などなど。保護者のそんな悩みを少しでも和らげられたらと思い、無料で給食体験ができる場を提供しています。

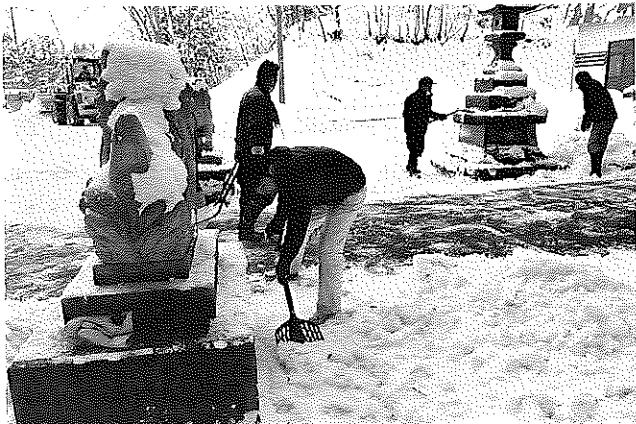
園児たちと一緒に給食を食べながら、給食の雰囲気を楽しみ、保育園給食の内容や味付けや切



子育て支援センター職員が家庭訪問。何気ない育児の疑問や大人関係の悩みなども気軽に育児・子育て相談に応じています。そして、保護者のリクエストに応えて、5000円程度のプレゼントをお渡ししています。

緑ヶ丘老人ホーム

12月31日、社会奉仕の一環として大鳥神社の境内除雪を行いました。緑ヶ丘老人ホームが開設して以来、毎年欠かさず行っています。今年は職員と地域の皆様と一緒にを行い、新年に向けて準備が整いました。卯年にちなみ、飛躍した一年になるよう祈念してまいりました。これからも開設当初の想いに寄り添い、



り方、調理法などを知ることができます。見て、大変好評をいただけています。

黒松内つくし園後援会、小間旅館（以上黒松内町）、京極町社会福祉協議会（京極町）、北海道新聞社会福祉振興基金、北海道協同募金会（以上札幌市）

ご理解のほどよろしくお願ひ致します。

当法人へのご厚志に感謝申し上げますとともに、ご芳名のご公表を控えさせていただきますことに心よりお詫び申し上げます。

厚志の紙面掲載を控えさせていただきます。

社会福祉法人黒松内つくし園会報「ブナの里」では、これまで法人へのご厚志をいたしました皆様のご芳名を掲載してきましたが、個人情報保護の観点から、今後は個人の方からのご厚志の紙面掲載を控えさせていただきます。

お詫びとご案内

（令和4年11月1日から令和4年12月31日まで）敬称は略させていただきます。

ご厚志に心から感謝申し上げます

法人会務の運営状況

（2022年12月開催分）

- ◆12月2日 事務担当者ミーティング
- ◆12月7日 虐待防止委員会
- ◆12月8日 第429回理事会
- ◆12月13日 施設長・副施設長会議
- ◆12月16日 苦情解決委員会
- ◆12月20・21日 ハラスメント研修会

黒松内つくし園に 善意のケーキ寄贈

12月23日、卒園生の滝吉正人さん（平成17年3月卒園）と「株式会社上田商会」（本社登別市）の代表取締役社長 上田朗大様がケーキ80個を持って来園して下さいました。



滝吉さんは3歳から18歳まで当園で過ごしました。クリスマスには「わかさいも本舗」に勤めている卒園生の館洞勝雄さん（昭和40年3月卒園）から児童1人に1つずつ手作りのクリスマスケーキが届くのをとても楽しみにしていたそうです。しかし、2015年の退職



を機に43年間続いたケーキの寄贈が終了したことを見た滝吉さんが上田社長に相談したところ、2019年からケーキを届けて下さるようになり、今年で4回目となりました。幼児と小学生にはお菓子の詰め合わせも用意されており、上田社長から受け取りました。お菓子とケーキをもらった子は「チヨコケーキをもらいました。サンタさんも食べちゃいました。お菓子もケーキも最高でした」と嬉しそうに話してくれました。

令和五年「癸卯(みずのと・う)年」の始まり

特大しめ飾りを後志総合振興局へ贈呈



特大しめ飾りを後志総合振興局へ贈呈

呈されました。恒例となつたこのしめ飾り贈呈も四半世紀以上続いています。工藤さんは緊張していた様子でしたが、無事にしめ飾りを贈呈することができました。

贈呈したしめ飾りは、同席していただいた方々からも好評で、総合振興局の正面玄関に飾られ元旦を待つのみとなりました。

新年も旧年に増して「しりべしワーカセンターセオス」にご愛願賜りますようお願い申し上げます。

(生活支援員 小林健介 記)



しめ飾りが飾られた正面玄関で記念撮影

12月21日、後志総合振興局において、新年の幸せを願つたしめ飾りが、大代理事長、遊部施設長同席のもと、しりべしワーカセンターセオス、園芸課でしめ飾り作りに携わっている工藤友強さんから天沼宇雄後志総合振興局長に贈

2022年の世相を表す漢字が「戦」に決まり、露国の恐怖や円安・物価高騰の中で生活の「戦い」を表したものだそうです。法人でもほぼ全施設でコロナ感染症との戦いがずっと続いています。私と家族も戦いが年末まで続きました。あまりの無症状さにびっくりでした。

2022年末はサッカーワールドカップでの日本の活躍とスーパースターの技に熱狂しました。2023年3月のWBCでの大谷様と村神様の活躍が今から楽しみです。また、北広島で開業するエスコンフィールドで日本ハムの試合をぜひ観戦したいものです。10月開催のラグビーワールドカップも日本代表の活躍を期待しています。

干支は「壬午」と「十二支」の組み合わせで、「六十年周期(還暦)」です。

「卯」の組み合わせから、これまでの努力が実を結び、勢いよく成長し飛躍するような年になるそうです。2023年は癸卯の年で、「癸」と「卯」の組み合わせで、60年周期(還暦)です。

本年も法人の広報誌やホームページなどをさらに読みやすく見やすくなるよう充実させてまいります。会報ブナの里と法人広報委員会をどうぞよろしくお願いいたします。

岡田

編集後記



法人会報「ブナの里」第139号

発行年月日 令和5(2023)年1月1日発行

発 行 者 社会福祉法人 黒松内つくし園

発行責任者 法人会報ブナの里広報委員会

社会福祉法人 黒松内つくし園

〒048-0101

北海道寿都郡黒松内町字黒松内562番地1

電話:0136(77)2833 FAX:0136(75)7211

E-Mail: honbu1@viola.ocn.ne.jp URL:<https://tsukushien.or.jp>